

財 務 ・ 会 計

令和4年度 中小企業診断士1次試験

本試験 第4問

- ア 外貨建の金銭債権・債務、前払金・前受金については、決算日の直物為替レートにより換算する（×）。
- イ 為替差損益は、原則として営業外収益または営業外費用とする（○）。

本試験 第6問

- 原価計算における非原価項目として、最も適切なものはどれか。ただし、すべて正常なものであるとする。
- ウ 仕損、減損、棚卸減耗損（×）
- エ 支払利息（○）

本試験 第7問

当社は資本金1億円以下の中小法人に該当する。当期400万円の繰越欠損金を計上した。そのときの仕訳として、最も適切なものはどれか（単位：万円）。なお、法人税の実効税率は30%とする。

- ウ（借）繰延税金資産 120 （貸）法人税等調整額 120（○）

本試験 第11問

当期はX5年4月1日からX6年3月31日の1年間である。決算整理前の機械勘定の残高は216,000円であるが、当期より直接控除法から間接控除法に記帳方法を変更する。この機械はX1年4月1日に取得したものであり、耐用年数10年、残存価額をゼロとする定額法により減価償却を行っている。

この機械の取得原価として、最も適切なものはどれか。

- ウ 360,000円（○）

本試験 第14問

B社は以下のような条件で、取引先に貸し付けを行った。割引率を4%としたとき、貸付日における現在価値として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

- ① 貸付日は2020年7月1日、貸付期間は5年であり、満期日の2025年6月30日に元本200万円が返済されることになっている。
- ② 2021～2025年の毎年6月30日に、利息として元本の5%である10万円が支払われる。
- ③ 期間5年ときの複利現価係数と年金現価係数は以下のとおりである。

	複利現価係数	年金現価係数
4%	0.822	4.452
5%	0.784	4.329

〔解答群〕

- エ 208.9万円（○）

2022年合格目標 TAC教材

1次完成答練② 第4問

- ア 為替差益および為替差損は、原則として、損益計算書上、営業外収益または営業外費用の区分に純額で表示する（○）。
- ウ 決算時において外貨建ての前払金を有している場合、決算時の為替相場による円換算額に換算替える（×）。

1次財務・会計特訓ゼミ

原価計算基準に基づき、原価に該当するものには「○」、原価に該当しないもの（非原価項目）には「×」を記入せよ。

- ② 支払利息等の財務費用（×）
- ⑥ たな卸減耗費（異常な状態を原因とするものを除く）（○）

1次公開模試 第7問

税効果会計に関する説明として、最も適切なものはどれか。

- ウ 将来の課税所得と相殺可能な繰越欠損金は、税効果会計の対象とならない（×）。

1次完成答練① 第2問

以下の資料に基づき、当期（当期は×3年4月1日から×4年3月31日の1年間である）における減価償却費の金額として最も適切なものを、下記の解答群から選べ。なお、減価償却は直接控除法により記帳している。また、建物・備品ともに残存価額はゼロである。

【資料①】

決算整理前残高試算表（単位：千円）			
建 物	15,000		
備 品	?		

【資料②】

種 類	償却方法	耐用年数	償却率	取得日
建 物	定額法	5年	—	×1年4月1日
備 品※	定率法	10年	0.2	×2年4月1日

※備品の取得原価は2,500千円である。

- エ 5,400千円（○）

1次養成答練 第10問

当社は、額面100円、1年後より利息を受取ることができる残存期間3年の社債の購入を検討している。この社債のクーポンレートは4%で、目標資本コストを6%とした場合、この社債の理論価格の計算式として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

年 金 現 価 係 数				
期間	4%	5%	6%	7%
1年	0.96	0.95	0.94	0.93
2年	1.89	1.86	1.83	1.81
3年	2.78	2.72	2.67	2.62

〔解答群〕

- ア $4 \times 2.67 + 100 \times (2.67 - 1.83)$ （○）